

水俣病被害者救済の早期実現をめざす

国会通信 No.1

2025年10月1日発行

発行・ノーモア・ミナマタ

被害者・弁護団全国連絡会議

熊本県水俣市桜井町2丁目2-20

電話 0966-62-7502

FAX 0966-62-1154

水俣病公式確認から70年 被害者が生きているうちに救済を！

ノーモア・ミナマタ第2次訴訟 控訴審弁論（福岡高裁）始まる

9月17日、福岡高等裁判所において、ノーモア・ミナマタ第2次熊本訴訟の控訴審第1回弁論がありました。

控訴人及び被控訴人代理人がお互いの主張についてプレゼンテーションを行いました。

弁論では、天草市河浦町宮野河内在住の藤下節子さんが、「特措法において二人の兄は、救済されましたが、同じ食生活をしていた私は非該当となり、納得がいきません。地裁では、水俣病に罹患しているとされながら、除斥期間によって棄却されました。同じ苦しみを抱えながら闘い続ける仲間たち全員が救済されるよう公正で公平な控訴審判決をいただきますようお願いします」と訴えました。

同じく意見陳述にたった森正直団長は、「苦しみにまみれた被害者の被害に正面から向き合ってください、残された水俣病被害者の早期救済と公式確認から70年という節目の年に、水俣病問題の解決の扉を切り開いていただきますよう心からお願いします」と述べました。



熊本県上天草市議会全会一致で 「国に意見書を提出する請願」を採択！



9月12日、熊本県上天草市議会の最終日。水俣病不知火患者会から提出された「水俣病の早期解決を国へ要望する意見書の採択を求める請願書」が全会一致で採択されました。

上天草市には、救済を受けた被害者223名と裁判原告が158名、全体で381名の水俣病不知火患者会の会員がいます。

原告たちは、地元選出の市議会議員宅を訪問し、請願の紹介議員になってもらうよう要請して回りました。訪問したすべての議員さんから、「もうすぐ公式確認から70年。早く解決して欲しい」と快諾をいただきました。

「水俣病被害者とともに歩む国会議員連絡会」のみなさま 「国会通信」発行のお知らせ

私たちの活動の一端をお知らせできればと思い、「国会通信」を発行することと致しました。不定期の発行となりますが、ぜひ、ご一読下さい。

私たちへのご質問やご要望がありましたら、上記発行先（担当・元島）に遠慮なくご連絡ください。